

第 68 回日本病理学会秋期特別総会
令和 4/2022 年度 学術研究賞演説（A 演説）応募抄録

ふりがな 応募者氏名		会員 番号	
所属施設		職名	
所属住所	〒		
	電 話:	Fax:	
演題名	メール:		

選考用抄録（900 字以内）記述の中で論文報告しているものについては、業績一覧の番号を附すこと

令和4/2022年度 学術研究賞(A演説)応募者履歴書

西暦 年 月 日現在

(ふりがな) 応募者氏名		性 別	男 女
生年月日	西暦 年 月 日 (才)		
本学会での 受賞歴			
学位 および 病理関係資格等			
学歴(大学以降) および 職歴			
Pathology International への総説投稿	以下について、ご了承後にチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> A 演説を担当した場合、Pathology International へ総説を投稿します。		

学術研究賞演説（A演説）選考用関連論文一覧

20 編以内。以下の記載例に倣うこと。

著者は省略せず全員を記載すること。応募者に下線を付すこと。

別刷をつけた業績のあたみに「○」印をつけること。

記載例：

論文

1. Suzuki I, Tanaka J, Yamada S, Ito S. Expression of ZRRF1 and its biological role in invasive ductal carcinoma of the breast. *Pathol Int* 50; 500-505, 2018
2. 田中二郎, 鈴木一郎, 山田三郎, 伊藤四郎. 浸潤性乳管癌の間質形成と臨床的特性. *診断病理*, 50; 175-180, 2017

著書

- ① . Suzuki I, Tanaka J: Prognostic markers for invasive breast cancer. *Histopathology*. (Ed) Yamada S, Ito S, Pathology Press, Tokyo, p.175-180, 2013
2. 田中二郎, 鈴木一郎: 乳癌の病理像と臨床像. *組織病理* (山田三郎, 伊藤四郎・編集). 病理書院, p.175-180, 2015

※ 代表的な自著論文 5 編以内の別刷り